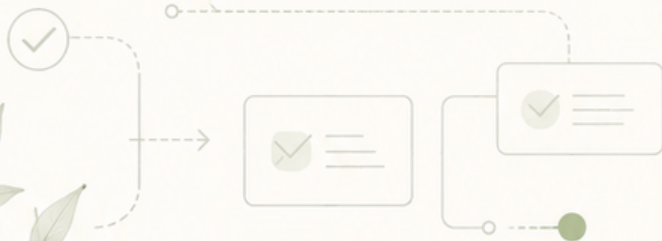
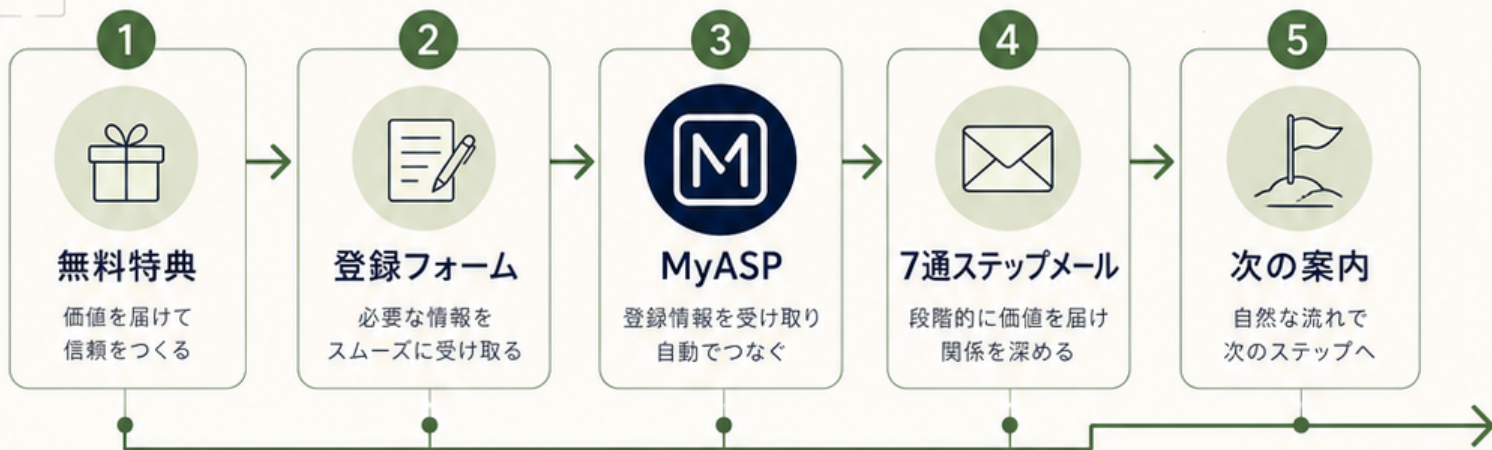


MyASP 最初の1本 スタートガイド

無料特典・登録フォーム・7通ステップメールをつなぎ、
最初の配信導線を動かすまで



MyASPを覚える必要はない。
最初の1本が動けばいい。

作業は仕組みに任せる。最後の確認とGOは人間。



CONTENTS | 目次

SECTION	内容
START HERE	このガイドで作る「最初の 1 本」
第 1 章	MyASP を開く前に、5 つだけ決める
第 2 章	シナリオを 1 つ作る
第 3 章	登録フォームを整える
第 4 章	無料特典の受け取り方を決める
第 5 章	完成した 7 通を MyASP へ設定する
第 6 章	自分でテスト登録する
第 7 章	ブログ・LP から登録できる状態にする
第 8 章	最初は触らなくていい機能
第 9 章	つまずいたら AI に聞けばいい
FINAL CHECK	ここまで動けば完成

START HERE | このガイドで作る「最初の1本」

このガイドは、MyASP の全機能を覚えるためのマニュアルではありません。購入したMyASP を「実際に

使い始める」ところだけに絞った、初心者向けの実装ガイドです。

先に「アンリミ×AI実践マニュアル」の必要な章で全体を整理します。メールが必要になったら「7通ステップメール設計・作成キット」で原稿を作り、配信を始める段階で本ガイドを使います。SNS半自動化は、受け皿ができた後の任意の発展作業です。

このガイドのゴール

無料特典 → 登録フォーム → MyASP → 7通ステップメール → 商品・サービスなど次の案内、という1本の流れが、自分のテスト登録で正常に動くこと。

※MyASP は機能追加や画面変更が行われます。このガイドでは、特定のボタン位置を丸暗記するのではなく、

『何を作るか』『何が完成状態か』を中心に説明します。

まだ登録を集める段階でなければ、原稿を保存しておけば十分です。本ガイドを読むためだけに配信スタンドを契約する必要はありません。

第 1 章 | MyASP を開く前に、5 つだけ決める

設定画面を開いてから考え始めると、項目の多さに引っぱられます。先に「最初の 1 本の設計」を決めてから MyASP を触ります。

最初に決める 5 つ

決めること	ここだけ決める
1 誰が登録する？	どんな人に無料特典を受け取ってほしいか。
2 何を受け取る？	PDF、チェックリスト、動画、テンプレートなど、登録直後に渡すもの。
3 登録後に何を伝える？	完成済みの 7 通ステップメール。
4 7 通後にどうなってほしい？	読者が次の選択肢を自分で判断できる状態。
5 最後に何へ案内する？	商品・サービス、レビュー記事、相談ページなど。

先に決める理由

MyASP は「何を配信するか」を決めてくれるツールではありません。中身と読者の流れは人間が決め、登録・配信という作業を MyASP へ任せます。

このガイドでは 1 シナリオだけ

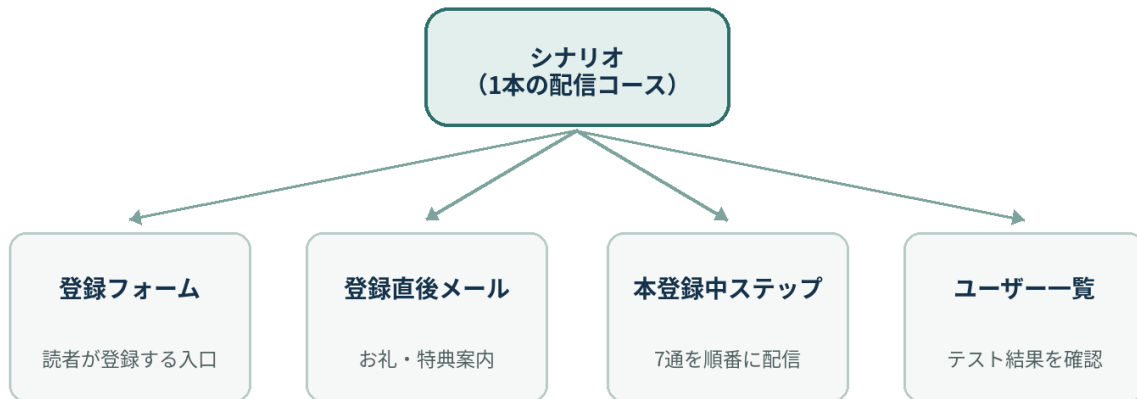
最初から複数シナリオを組み合わせたり、細かな条件分岐を設計したりしません。まず「無料特典に登録した読者へ、7 通を届ける」シナリオを 1 本だけ作ります。

- ☐ 登録する読者が決まった
- ☐ 無料特典が決まった
- ☐ 7 通の本文がある
- ☐ 7 通後の到達点が決まった
- ☐ 最後に案内する先が決まった

第 2 章 | シナリオを 1 つ作る

MyASP では、登録フォームやステップメールなどを「シナリオ」という単位で管理します。難しく考えず、シナリオ＝「読者が登録してから進んでいく 1 本の配信コース」と考えれば十分です。

MyASPの中で最初に触るのは、この4つだけ



高度な条件分岐・複数シナリオ連携・タグ設計は、最初の1本が動いてからで十分。

STEP 1

新しいシナリオを 1 つ作る

今回の用途は、無料特典を入口にしたメルマガ・ステップメール配信です。シナリオ名は、あとで自分が見て分かる名前にします。読者向けの名称と管理用の名称を混同しないようにします。

シナリオ名の例

「ブログ 30 日設計書 | 登録者用」「空き家診断シート | 登録者用」のように、無料特典や入口が分かる名前にしておくで管理しやすくなります。

STEP 2

登録フォームと自動返信・ステップ管理があることを確認する

シナリオを作ると、そのシナリオ用の登録フォームと、登録後に配信するメールを管理する場所が使えます。最初はこの 2 つを中心に触れば十分です。

ここでの完成状態

- ☐ シナリオが 1 つ作成されている
- ☐ 登録フォームを表示できる
- ☐ 自動返信・ステップ管理を開ける

第 3 章 | 登録フォームを整える

MyASP では、シナリオを作ると登録フォームが用意されます。最初の 1 本では、フォームを豪華に作り込む必要はありません。読者が迷わず登録できることを優先します。

STEP 3

必要な入力項目だけ残す

最低限、メールアドレスが必要です。名前を使ってメール内で呼びかけたいなら名前も残します。使う予定のない項目を増やすほど、登録の手間も管理の手間も増えます。

項目	判断基準
メールアドレス	基本。配信先として必要。
名前	本文で名前を使う場合など、必要なら残す。
その他の項目	最初の 1 本では、明確な用途があるものだけ。

STEP 4

登録フォームを実際に表示して確認する

設定したら、管理画面だけで判断せず「登録ページの表示」から実際のフォームを開きます。スマートフォンでも読めるか、入力項目が多すぎないか、読者向けの名称が不自然でないかを確認します。

ここではやらない

HTML・CSS を使った細かなフォーム装飾、複雑な外部埋め込みは後回し。最初は MyASP が用意した登録ページへリンクするだけでも、1 本の導線は動かします。

ここでの完成状態

- ☐ 登録フォームを開ける
- ☐ 入力項目が必要最小限になっている
- ☐ 読者向けの名称に違和感がない
- ☐ スマホでも登録しやすい

第 4 章 | 無料特典の受け取り方を決める

登録したのに「どこから特典を受け取るの?」となると、最初の体験でつまづきます。登録直後に、読者が迷わず特典へ進める状態を作ります。

STEP 5

登録直後に届くメールの役割を決める

MyASP では、新しく作ったシナリオに登録直後の自動返信メールが用意されます。ここを「登録ありがとうございます+無料特典の受け取り案内」に使うのが分かりやすい基本形です。

- 特典 URL を 1 つ、分かりやすく置く
- URL が正しいか自分で開いて確認する
- 「登録できました」「ここから受け取れます」が分かる文章にする
- 長いセールス文章を詰め込まない

「登録直後メール」と 7 通の第 1 通が重ならないようにする

登録直後メールと「7通」の役割を重ねない

パターンA | 登録直後メールは「受け取り案内」に絞る



→ 7通の第1通に自己紹介・関係づくりを置く場合、登録直後メールは短くして重複を避ける。

パターンB | 7通の第1通を「登録直後メール」として兼ねる



どちらが正解という話ではありません。大切なのは、同じ自己紹介・同じ特典案内が 2 通続く状態を避けることです。7 通設計で第 1 通に何を置いたかを見て、登録直後メールの情報量を決めます。

重要

無料特典のファイルそのものを MyASP へ無理に入れることより、「読者が確実に受け取れる URL を案内する」ことを優先します。保存先・配布方法は、自分の運用に合わせて決めてください。

第5章 | 完成した7通をMyASPへ設定する

ここではメールを書き直しません。別特典「AIと作る『あなたにしか書けない』7通ステップメール設計・作成キット」で完成した7通を、そのままMyASPへ実装する工程です。

STEP 6

7通を「本登録中」のステップメールとして追

加する

シナリオの「自動返信・ステップ管理」から、継続して配信するステップメールを追加します。件名・本文・配信時期を、1通ずつ確認しながら設定します。

STEP 7

配信時期を7通の設計に合わせる

「毎日1通」「数日空ける」など、配信間隔に唯一の正解はありません。7通設計で意図した流れに合わせます。最初の1本では、複雑な条件分岐よりも、順番と配信間隔が正しいことを優先します。

メール

配信設定の考え方

第1通

登録直後～翌日など。設計に合わせる。

第2通

第1通の次に自然に届く時期。

第3～6通

読者の理解が進む順番を崩さない。

第7通

到達点を再確認し、次の選択肢へ案内。

サンキューメールを別に出す場合

登録直後メール+7通=合計8通になること自体は問題ではありません。ただし「同じ内容の重複」がないか確認します。

STEP 8

配信解除リンクを消さない

MyASPではメール作成時に配信解除リンク用の置き換え文字が自動で入ることがあります。本文を差し替えるときに誤って削除していないか確認します。読者が自分で配信停止できる状態を残します。

7通を入れ終えたら一覧で確認

- ☐ 7通すべて存在する
- ☐ 順番が正しい
- ☐ 件名と本文が対応している
- ☐ 配信時期が意図どおり
- ☐ URLが正しい
- ☐ 配信解除リンクがある

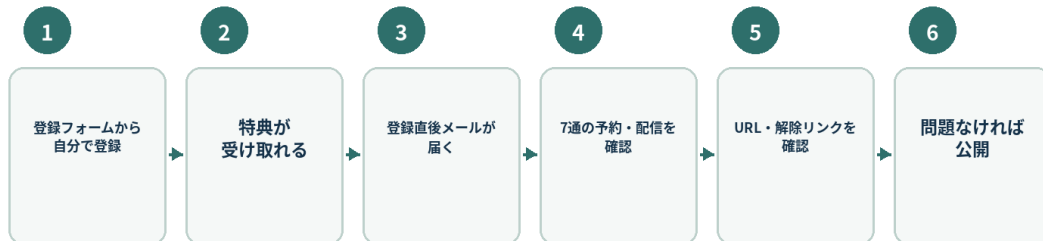
入稿前の確認

登録時に案内した内容と実際の配信内容を合わせ、送信者情報・問い合わせ先・配信解除を設定します。MyASPの解除URL置換文字は %cancelurl% です。実際の解除動作と登録直後メールの重複がないことは、本稼働前に自分で確認してください。

第 6 章 | 自分でテスト登録する

公開前の確認は、管理画面を眺めるだけでは足りません。自分自身が読者になって、登録からメール受信まで通します。MyASP の公式マニュアルでも、自分のメールアドレスを実際に登録して確認する方法が案内されています。

公開前のテストは「自分が読者になる」



テストメール送信だけでなく、実際の登録フォームから登録すると、置き換え文字や配信解除リンクまで確認しやすい。

STEP 9

登録フォームから自分のメールアドレスで登録する

「登録ページの表示」でフォームを開き、テスト用のメールアドレスで実際に登録します。

STEP 10

届いたメールを受信者目線で確認する

- ☐ 差出人名に違和感がない
- ☐ 件名が意図どおり
- ☐ 無料特典 URL が開く
- ☐ 文字化けや崩れがない
- ☐ 7 通の配信予約・配信順が正しい
- ☐ 商品・サービス等の最終 URL が開く
- ☐ 配信解除リンクが動く

なぜ「テストメール送信」だけでは足りない？

ユーザーごとに変わる置き換え文字や配信解除リンクは、実際の登録者として届くメールで確認した方が確実です。最初の 1 本だけは、登録フォームから最後まで通してください。

問題があったら、全部作り直さない

特典 URL だけ違う、第 4 通の配信時期だけ違う、という場合はその箇所だけ直します。完成条件は、読者として登録したときに意図した流れが動くことです。

第 7 章 | ブログ・LP から登録できる状態にする

テストが通ったら、読者が登録フォームへ来られる入口をつなぎます。最初の 1 本では、外部 LP へ複雑なフォーム埋め込みをしなくても構いません。登録フォームの URL へ案内するだけでも運用を開始できます。

基本の 2 ルート

ルート	流れ
直接ルート	SNS・案内ページ → 無料特典 LP → MyASP 登録フォーム
記事ルート	SNS → ブログ記事 → 無料特典 LP → MyASP 登録フォーム

本丸の SNS 半自動化スターターキットで作った「SNS→記事／無料特典→メルマガ」の流れの最後に、この MyASP 登録フォームを置けば、集客側と配信側につながります。

公開前に最後の 1 回だけ

実際のブログ・LP から登録フォームまで自分でタップし、リンク切れや別シナリオへの誤リンクがないか確認します。

公開後は「最初の 1 人」を確認する

公開したら、最初の登録者が入ったときに「ユーザー一覧」「配信済みメール」「配信前ステップメール」などで、想定どおり登録・配信されているか確認します。最初が正常なら、その後は毎回管理画面を監視する必要はありません。

第 8 章 | 最初は触らなくていい機能

MyASP はできることが多いサービスです。だからこそ、初心者は「今やらないこと」を決めた方が早く動けます。

今は後回し	理由
複数シナリオの複雑な連携	最初の 1 本が動いてから。
細かな配信条件・高度な分岐	必要性が出てから追加。
高度なタグ・ポイント設計	運用量が増えてから。
HTML/CSS でのフォーム作り込み	まず標準フォームで登録できれば OK。
高度な販売・決済シナリオ	無料特典→7 通の基本導線とは分けて考える。
細かな分析の作り込み	最初は「登録され、届く」を優先。

判断基準

「これを設定しないと、今の 1 本が動かないか？」で判断してください。NO なら、いったん触らなくて大丈夫です。

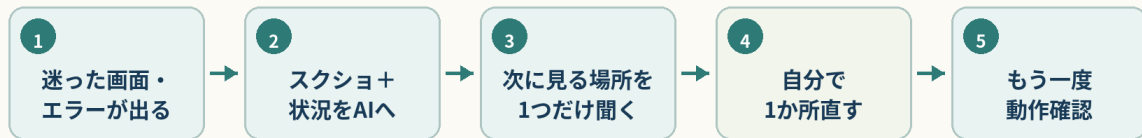
機能を使わないことは、MyASP を使いこなしていないという意味ではありません。必要な機能だけで読者へ価値を届けられていれば、最初の目的は達成しています。

第 9 章 | つまづいたら AI に聞けばいい

このガイドは、MyASP のボタン位置を丸暗記する教材ではありません。画面が変わった、どこを押すかわからない、エラーが出た——そんなときは、その場で AI に聞けば大丈夫です。

大切なのは、AI に全部を任せることなく、「今どこまで動いていて、次にどこを確認すればいいか」を 1 か所ずつ切り分けてもらうことです。最初から設定を全部作り直す必要はありません。

つまづいたら「全部やり直す」ではなく、AI と 1 か所ずつ切り分ける



ポイント：AI に最終判断を任せるのではなく、「次に確認する場所」を教えてもらう。GO は人間。

STEP 11 | 分からない画面を、そのまま AI に見せる

画面のスクリーンショットと、「何をしようとしているか」「どこまで進んだか」「何が分からないか」を一緒に伝えます。エラーメッセージが出ている場合は、その文面も見せます。

AI にそのまま聞けるプロンプト

MyASP で「無料特典 → 登録フォーム → 7 通ステップメール → 次の案内」という最初の 1 本を設定しています。

今は【ここに現在地】まで進みましたが、【ここに困っていること】で止まっています。

添付した画面とエラーメッセージを見て、今の設定を壊さず、次に確認する場所を 1 つずつ教えてください。

- ・画面から確認できる事実と、推測を分けてください。
- ・分からないことは勝手に決めず「要確認」としてください。
- ・一度に複数の設定を変更せず、1 か所確認 → 私が実行 → 次へ、の順に進めてください。
- ・画面名称や仕様がかわっている可能性がある場合は、可能なら MyASP 公式マニュアルの最新情報を確認してください。
- ・シナリオ削除や本番配信など、元に戻しにくい操作をする前には必ず私へ確認してください。

AI に任せるのは「原因の切り分け」まで

AI に向いていること：画面から次に見る場所を探す／エラー文をかみ砕く／どこまで正常に動いているか整理する／公式マニュアルの該当箇所を探す。

人間が決めること：本番配信する／シナリオを削除する／読者データに影響する設定を変える／「これで公開する」と GO を出す。

スクリーンショットを送る前に

メールアドレス、氏名、読者情報、API キー、パスワード、アクセストークン、決済情報などが写っていないか確認してください。必要な部分だけを見せれば十分です。

ここでの完成状態

- ☐ 分からない画面をスクリーンショットで AI に相談できる
- ☐ 「次に確認する場所を 1 つずつ」と頼める
- ☐ AI の提案を一気に全部実行せず、自分で 1 か所ずつ確認できる
- ☐ 本番配信・削除など重要な G0 は自分で出す

FINAL CHECK | ここまで動けば完成

下のチェックがすべて埋まれば、MyASP の「最初の 1 本」は完成です。

- ☐ 誰が登録するシナリオなのか決めた
- ☐ 無料特典を決めた
- ☐ シナリオを 1 つ作った
- ☐ 登録フォームを実際に表示した
- ☐ 入力項目を必要最小限にした
- ☐ 登録直後メールと 7 通の役割を整理した
- ☐ 無料特典 URL を確認した
- ☐ 完成した 7 通を設定した
- ☐ 7 通の順番・配信時期を確認した
- ☐ 配信解除リンクを確認した
- ☐ 自分のメールアドレスでテスト登録した
- ☐ 登録直後メールが届いた
- ☐ 7 通の配信予約・配信を確認した
- ☐ 本文内の URL を実際に開いた
- ☐ ブログ・LP から登録フォームへ進める
- ☐ 最初の登録者が正常に登録・配信されることを確認した

完成の基準

「MyASP の機能を全部理解した」ではありません。自分が読者として登録し、特典を受け取り、7 通が正しい順番で届き、最後の案内まで進める。それが確認できたら完成です。

- ☐ つまづいたとき、画面と状況を AI に見せて 1 か所ずつ切り分けられる

MyASP を覚える必要はない。最初の 1 本が動けばいい。

作業は仕組みに任せる。最後の確認と G0 は人間。

公式情報の確認先 | 画面が変わったときはここへ

MyASP は継続的に更新されています。このガイドは2026年9月26日に公式マニュアルを確認し、初心者が最初の1本を動かすために必要な部分だけへ絞っています。画面名称や操作位置が変わった場合

は、MyASP 公式マニュアルで最新情報を確認してください。

シナリオを作ってみよう

<https://docs.myasp.jp/42582/>

登録フォームをカスタマイズしてみよう

<https://docs.myasp.jp/43188/>

ステップメールを配信してみよう

<https://docs.myasp.jp/43478/>

機能解説：ステップメール

<https://docs.myasp.jp/37541/>

テストユーザーを登録しよう

<https://docs.myasp.jp/40705/>

配信解除リンク（配信停止URL）

<https://docs.myasp.jp/298/>

このガイドで迷ったときの順番

①このガイドで「完成状態」を確認 → ②分からない画面・エラーをAIに見せて、次に確認する場

所を1つだけ聞く → ③必要に応じてMyASP 公式マニュアルで最新仕様を確認 → ④1か所ずつ設定

して動作確認。最初から全機能を調べ直したり、全部作り直したりする必要はありません。